

株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 毎年2月
基準日 定時株主総会 11月30日
期末配当金 11月30日
中間配当金 5月31日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先) 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

公告掲載紙 日本経済新聞(※)

※当社では、日本経済新聞の決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を、下記当社ホームページにて掲載しております。
<http://www.tiemco.jp/company>

＜株式に関するお手続き用紙のご請求について＞

株式関係のお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、以下の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットにより24時間受け付けておりますのでご利用ください。

電話（通話料無料） 0120-244-479（本店証券代行部）
0120-684-479（大阪証券代行部）
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

Think in the field

ティムコ レポート

2006 AUTUMN／第37期中間

(証券コード 7501)



株式会社 ティムコ
東京都墨田区菊川3-1-11 〒130-8555
TEL (03) 5600-0122 FAX (03) 5600-0302
<http://www.tiemco.co.jp>





Think in the field.

……ティムコのしごと

自然の中で、クワイエット・スポーツを通じて、
生き生きとした喜びと幸福な時間を過ごしたいという
人々の内心の欲求に応え、
われわれの有する資源をもって、
そうした人々の幸福に寄与することがティムコの役目です。
われわれはそのために、創意と熱意をこめて、
先駆的かつ独創的で、誇るに足るクオリティを持つ
商品とサービスを提案し、
皆様に最も信頼される、皆様にとってなくてはならない
ユニークな会社になることを目指します。

日本は地形、地質、気象などの自然的条件から、さまざまな自然災害が発生しやすい国土であります。過去にも数多くの災害に見舞われてきました。今回は防災についてのお話です。

■ 防災の日は二百十日

9月1日は『防災の日』です。1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災に因んで、1960年（昭和35年）に制定されました。防災の日には、行政、自治体を中心に防災に関する意識の普及を高め、正しい知識や技術を身に付けることへの取り組みがさまざま行なわれています。

この9月1日は太陽暦では立春より210日目となり、雑節の一つとし二百十日（にひゃくとおか）と言われていきます。二百十日は八朔（はっさく 旧暦8月1日）、二百二十日（にひゃくはつか）とあわせ、台風の来襲する特異日であり、農家では三大厄日とされております。関東大震災時にも台風の影響により、強風が吹き荒れ火災の被害が拡大しました。

■ 防災福祉コミュニティへの取り組み

防災対策は、これまで被害を出さない対策ばかりに取り組んできました。しかし、阪神・淡路大震災後は、ある程度の被害は想定しつつ、その被害を最小限にする「減災」という概念が生まれました。

その取り組みのひとつとして、神戸市では震災後「福祉活動」と「防災活動」を連携させた「防災福祉コミュニティ」が結成されました。災害時にはひとつになって地域を守る活動ができるまちづくりが行なわれています。最近ではさらに教育・防犯もあわせた、総合的なまちづくりが全国にその広がりを見せています。

■ 緑や水も防災になります

現代都市では開発を優先するあまり、緑や水といった自然を破壊してきました。ところが、自然は防災において消火用水の確保や延焼の遮断というような減災の役割を果たしています。このようなことから、日常的に自然との共生をはかり、都市にも水や緑を取り戻さなければならぬといえるでしょう。

このように、日常的な人のつながりや自然との共生が、安全や安心を生みだすのであり、日常が防災の基本であることを確認しておきたいものです。

■ 171伝言ダイヤル

地震等の大災害発生時には電話がつながり難い状況が続き、家族や親戚の安否の確認が取れないことが一番の心配ごとになります。

このような災害時に限定して、NTTからは災害用伝言ダイヤル「171」やインターネットを利用した「災害用ブロードバンド伝言板」（web171）が提供されます。

また、携帯電話各社からはそれぞれのインターネット接続サービスを利用した「災害用伝言板サービス」が提供されます。

安否の確認や情報の共有の手段として非常に有効となるものです。使用方法を確認しておき、いざという災害時には、ご家族やご友人と連絡がとれるようにしておきましょう。

■ 災害対策用ベスト

ティムコのオリジナルアウトドア衣料フォックスファイヤーでは、災害時に必要なものを身に着けて行動することをコンセプトに、災害対策用ベスト「171プラスベスト」を今春発売いたしました。

四半世紀に及ぶフィッシングベストやアウトドア衣料のノウハウを注ぎ込み、多くのものを収納して長時間着用しても疲れにくい仕様となっています。災害時には強い味方になります。是非ご覧になってください。



フォックスファイヤーホームページ <http://www.foxfire.jp>

（フォックスファイヤー主要店の情報もご覧になれます）

年に1度は防災会議を開こう！

家庭や職場で災害が起こってもあわてることなく行動できるように、「各自の役割分担」「非常持出品や危険箇所のチェック」「避難場所や連絡方法の確認」等を年に1度は話し合うとともにお互いに確認をしましょう。このような話し合いの中から一人ひとりの防災意識が高まります。

笛〜ホイッスル〜

災害時に身動きが取れない状況下で、自分の所在を知らせるには笛が一番有効であるそうです。また、日常では防犯として危険を知らせたりと、笛は非常に有用なツールです。常に携帯しておきたいものです。

映画「タイタニック」で主人公の女性も、笛のおかげで発見され救助されましたね。

新店舗オープン

2006年7月5日中京圏最大のアウトレットパーク『ジャズドリーム 長島』に、シックな雰囲気のアウトレットエリアが新設され、そのエリア内に新たに『Foxfire FACTORY OUTLET長島』がオープンしました。



Foxfire FACTORY OUTLET長島

住所 ▶ 三重県桑名市長島町浦安368
アウトレットパーク ジャズドリーム 長島
電話 ▶ 0594-45-8748



フォックスファイヤーのアウトドア衣料、シューズ、カメラザック等をアウトレット価格にて多数取り揃えております。もちろん、フライフィッシングコーナーも充実しておりますので、フィッシングベスト&ウェーダーのほか、フィッシングギアもお手頃価格でお求めいただけます。

お近くにお越しの際には是非お立ち寄りください。



フォックスファイヤー主要店舗一覧

店 舗 名	住 所	電話番号
Foxfire サッポロファクトリー	北海道札幌市中央区北二条東4丁目 サッポロファクトリー2条館3階	011-207-5026
Foxfire さくら野八戸	青森県八戸市三日町十三 さくら野百貨店八戸店2階紳士服売場	0178-44-1151
Foxfire 福島中合	福島県福島市栄町5-1 福島中合二番館3階アウトドア売場	024-521-3228
Foxfire ボンベルタ成田	千葉県成田市赤坂2-1-10 ボンベルタ成田3階アウトドア売場	0476-26-2111
Foxfire 所沢西武	埼玉県所沢市日吉町12-1 西武百貨店所沢店5階スポーツ売場	042-927-3280
Foxfire 丸広飯能（※）	埼玉県飯能市柳町22-11 丸広百貨店飯能店4階紳士服売場	0429-73-1111
Foxfire 丸広川越（※）	埼玉県川越市新富町2-6-1 丸広百貨店川越店4階紳士服スポーツ売場	049-244-1111
Foxfire 池袋西武	東京都豊島区南池袋1-28-1 西武百貨店池袋本店8階アウトドア売場	03-3986-4163
Foxfire 日本橋高島屋	東京都中央区日本橋2-4-1 高島屋東京店5階スポーツ売場	03-3246-4565
Foxfire 小田急ハルク	東京都新宿区西新宿1-1-3 小田急ハルク1階アウトドア売場	03-5325-2585
Foxfire 京王新宿	東京都新宿区西新宿1-1-4 京王百貨店新宿店5階スポーツ売場	03-5321-5327
Foxfire 新宿高島屋	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-2 新宿高島屋8階アウトドア売場	03-5361-1788
Foxfire 玉川高島屋	東京都世田谷区玉川3-17-1 玉川高島屋本館4階スポーツ売場	03-3709-2158
Foxfire 小田急町田	東京都町田市原町田6-12-20 小田急百貨店町田店3階	042-720-6069
Foxfire FACTORY OUTLET横浜	神奈川県横浜市金沢区白帆5-2 ファクトリーアウトレッツ 横浜ベイサイドマリナー ショップス&レストランツ	045-770-5332
Foxfire 港南台高島屋	神奈川県横浜市港南区港南台3-1-3 港南台高島屋5階スポーツアウトドア売場	045-835-8253
Foxfire 沼津西武	静岡県沼津市大手町3-1-1 西武百貨店沼津店本館5階紳士スポーツ売場	055-961-2254
Foxfire 名古屋ファッションワン	愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4 ファッションワン内	052-551-7522
Foxfire FACTORY OUTLET長島	三重県桑名市長島町浦安368 アウトレットパーク ジャズドリーム 長島	0594-45-8748
Foxfire 岐阜高島屋	岐阜県岐阜市日ノ出町2-25 高島屋岐阜店7階スポーツ用品売場	058-264-6721
Foxfire 京都高島屋	京都府京都市下京区四条通河原町西入真町52 高島屋京都店5階スポーツ売場	075-252-7600
Foxfire ギャレ大阪	大阪府大阪市北区梅田3-1-1 GARE大阪	06-6346-7677
Foxfire 阪急インクス	大阪府大阪市北区茶屋町1-27 阪急百貨店インクス館2階トレッキング売場	06-6359-4068
Foxfire スポーツワールド33	兵庫県神戸市中央区三宮町2-10-7 スポーツワールド33 6階	078-332-7332
Foxfire 岡山高島屋	岡山県岡山市本町6-40 岡山高島屋北館4階スポーツ売場	086-236-0725
Foxfire 福屋広島	広島県広島市南区松原町9-1 福屋広島駅前店9階	082-568-3905
Foxfire FACTORY OUTLET福岡	福岡県福岡市西区小戸2-13-16-R203 ピアウォークマリノアシティ福岡	092-892-8630
Foxfire 熊本鶴屋	熊本県熊本市手取本町6-1 熊本鶴屋百貨店本館6階	096-327-3927

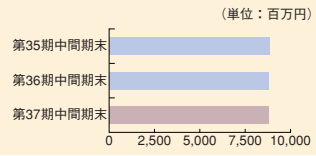
※Foxfire丸広飯能は4月末をもって丸広飯能店に移転いたしました。
Foxfire丸広川越は9月6日オープン予定です。

中間貸借対照表

(単位：千円)

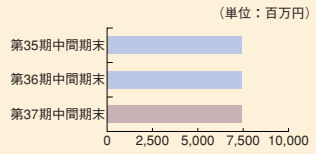
科目	期別	第36期中間期末 (平成17年5月31日現在)	第37期中間期末 (平成18年5月31日現在)	第36期末 (平成17年11月30日現在)
資産の部				
流動資産		5,287,004	5,251,765	5,070,389
固定資産		3,520,246	3,535,864	3,522,722
有形固定資産		3,141,798	3,093,638	3,121,269
無形固定資産		9,801	10,326	10,107
投資その他の資産		368,645	431,899	391,346
資産合計		8,807,250	8,787,629	8,593,112
負債の部				
流動負債		966,312	933,393	719,476
固定負債		407,971	427,878	419,184
負債合計		1,374,283	1,361,271	1,138,661
資本の部				
資本金		1,079,998	—	1,079,998
資本剰余金		3,861,448	—	3,861,448
利益剰余金		2,491,296	—	2,485,186
株式等評価差額金		225	—	27,820
自己株式		△2	—	△2
資本合計		7,432,967	—	7,454,451
負債・資本合計		8,807,250	—	8,593,112
純資産の部				
株主資本		—	7,408,971	—
資本金		—	1,079,998	—
資本剰余金		—	3,861,448	—
資本準備金		—	3,861,448	—
利益剰余金		—	2,467,526	—
自己株式		—	△2	—
評価・換算差額		—	17,386	—
純資産合計		—	7,426,358	—
負債純資産合計		—	8,787,629	—

総資産



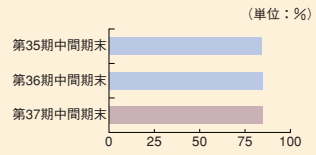
投資有価証券の評価替や直営店保証金預託等の増加が見られましたが、商品仕入調整による在庫の減少や、直営店舗設備の退店除却や減価償却の実施により、当中間期の総資産は前年同期に比べ19百万円減少いたしました。

純資産



前期決算による配当の実施の影響などにより、純資産は前年同期に比べ6百万円減少いたしました。

自己資本比率



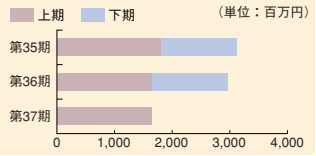
商品仕入調整による買入債務の減少や未払法人税等の減少により、自己資本比率は前年同期に比べ0.1％増加し84.5％となりました。

中間損益計算書

(単位：千円)

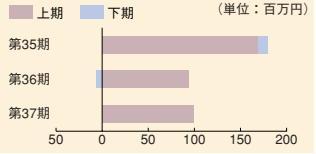
科目	期別	第36期中間 (自平成16年12月1日 至平成17年 5月31日)	第37期中間 (自平成17年12月1日 至平成18年 5月31日)	第36期 (自平成16年12月1日 至平成17年11月30日)
売上高		1,637,507	1,644,740	2,971,838
売上原価		831,662	837,252	1,519,212
販売費及び一般管理費		711,386	697,147	1,364,652
営業利益		94,458	99,068	87,973
営業外収益		74,761	26,146	97,287
営業外費用		13,225	10,962	33,639
経常利益		155,995	114,251	151,621
特別損失		9,611	4,832	10,376
税引前中間（当期）純利益		146,383	109,419	141,245
法人税、住民税及び事業税		76,201	61,758	70,923
法人税等調整額		△9,363	△9,829	△3,113
中間（当期）純利益		79,545	57,490	73,435
前期繰越利益		1,232,545	—	1,232,545
中間（当期）末処分利益		1,312,090	—	1,305,980

売上高



昨年冬季から春季にかけて続いた寒波の影響により、冬物衣料を中心に全般に好調に推移いたしました。フィッシング用品は振るわなかったものの、アウトドア衣料フォックスファイヤーが販売の牽引力となりました。その結果、当中間期の売上高は、前年同期に比べ0.4％増加いたしました。

営業利益



売上高の増加と経費の縮減により、当中間期における営業利益は、前年同期に比べ4.9％増加いたしました。

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	第36期中間 (自平成16年12月1日 至平成17年 5月31日)	第37期中間 (自平成17年12月1日 至平成18年 5月31日)	第36期 (自平成16年12月1日 至平成17年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		34,029	118,942	84,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		68,789	△40,423	18,478
財務活動によるキャッシュ・フロー		△104,958	△106,299	△75,560
現金及び現金同等物に係る換算差額		△454	△184	732
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)		△2,593	△27,965	28,239
現金及び現金同等物の期首残高		959,126	987,365	959,126
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		956,533	959,400	987,365

営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間会計期間において営業活動の結果得られた資金は、1億18百万円（前中間会計期間比84百万円増）となりました。これは主に、税引前中間純利益1億9百万円、減価償却費37百万円、仕入債務の増加2億23百万円によるもので、売上債権の増加1億26百万円、たな卸資産の増加88百万円などの資金の流出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間会計期間において投資活動の結果使用した資金は、40百万円（前中間会計期間比1億9百万円減）となりました。これは主に、直営店新店舗の敷金・保証金の預託による支出40百万円の資金流出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間会計期間において財務活動の結果使用した資金は、1億6百万円（前中間会計期間比1百万円減）となりました。これは主に、短期借入金の約定期日到来などの返済31百万円、前期決算の利益処分による配当金の支払い75百万円の資金の流出によるものです。

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自平成17年12月1日　至平成18年5月31日）（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金			
平成17年11月30日残高	1,079,998	3,861,448	3,861,448	74,205	1,105,000	1,305,980	2,485,186	△2	7,426,631
中間会計期間中の変動額									
剰余金の配当						△75,149	△75,149		△75,149
別途積立金の積立て					100,000	△100,000	—		—
中間純利益						57,490	57,490		57,490
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額（純額）									
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	100,000	△117,659	△17,659	—	△17,659
平成18年5月31日残高	1,079,998	3,861,448	3,861,448	74,205	1,205,000	1,188,321	2,467,526	△2	7,408,971

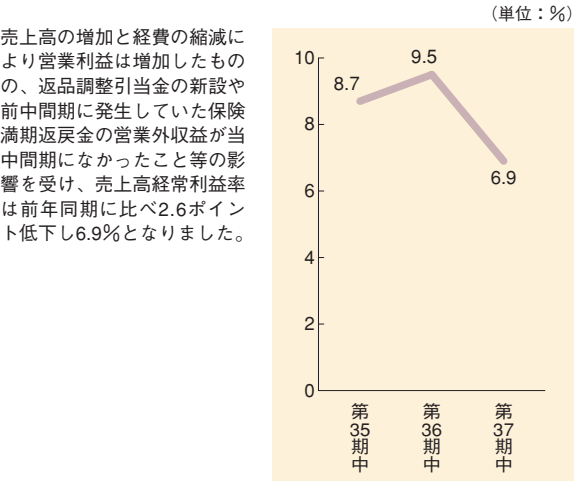
	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成17年11月30日残高	27,820	27,820	7,454,451
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当			△75,149
別途積立金の積立て			—
中間純利益			57,490
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）	△10,433	△10,433	△10,433
中間会計期間中の変動額合計	△10,433	△10,433	△28,093
平成18年5月31日残高	17,386	17,386	7,426,358

●発行株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数

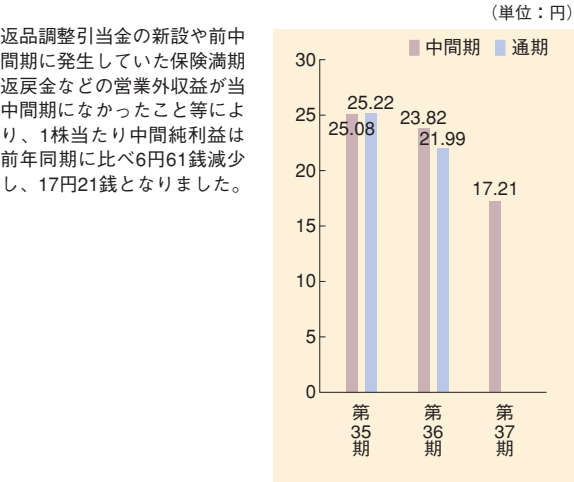
	前期事業 年度末 株式数	当中間 会計期間 増加株式数	当中間 会計期間 減少株式数	当中間 会計期間末 株式数
発行済株式数				
普通株式	3,339,995	—	—	3,339,995
合　計	3,339,995	—	—	3,339,995
自己株式				
普通株式	1	—	—	1
合　計	1	—	—	1

財 務 指 標

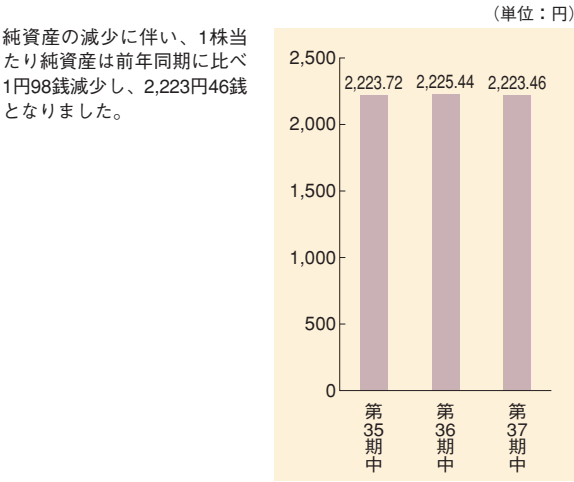
●売上高経常利益率（中間期）



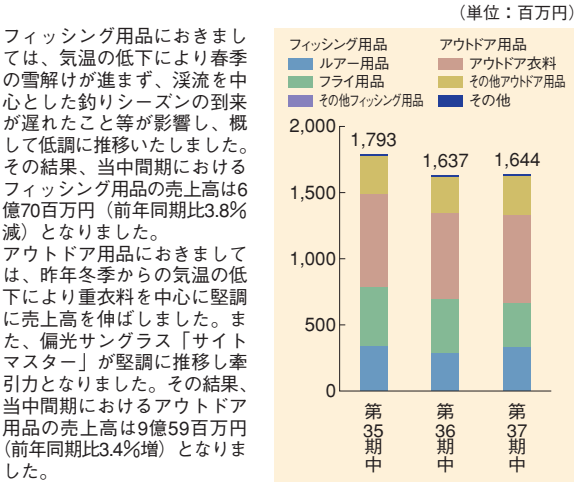
●1株当たり中間（当期）純利益



●1株当たり純資産（中間期）



●用品別売上高（中間期）



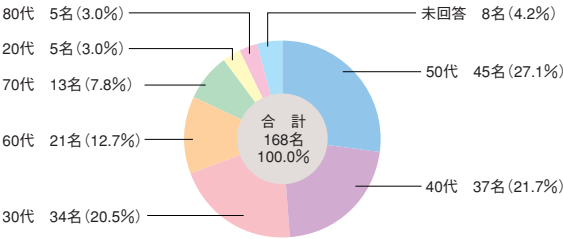
アンケートのご報告

ティムコレポート2006 SPRINGにおきまして、恒例の株主の皆様へのアンケートを実施いたしました。大変多くの皆様からご返信をいただき感謝いたします。以下、皆様よりいただきましたアンケートについてのご報告をさせていただきます。

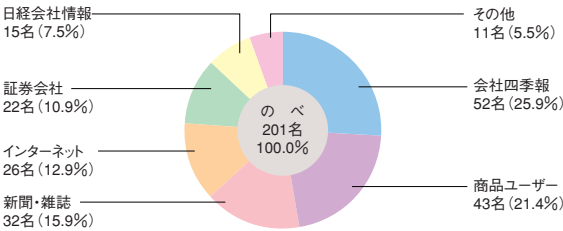
2005年11月末日現在株主数	2,091名
うちアンケート回答者数	168名
回収率	8.0%

(2006年6月末現在)

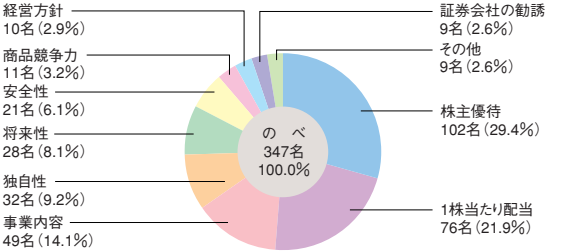
(1) 年齢



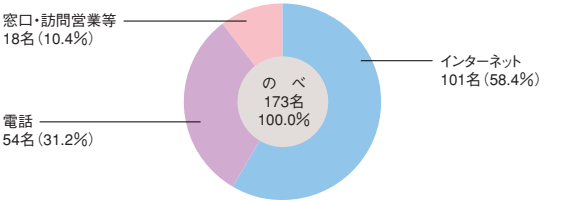
(2) どこでティムコをお知りになりましたか？ (複数回答あり)



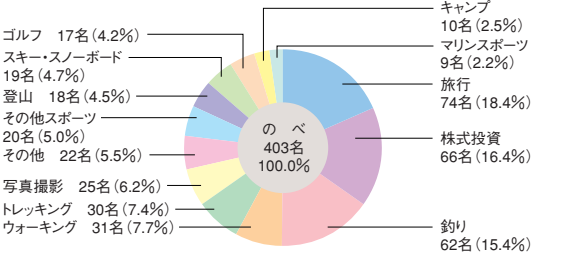
(3) ティムコの株式に投資された理由は何でしょうか？ (複数回答あり)



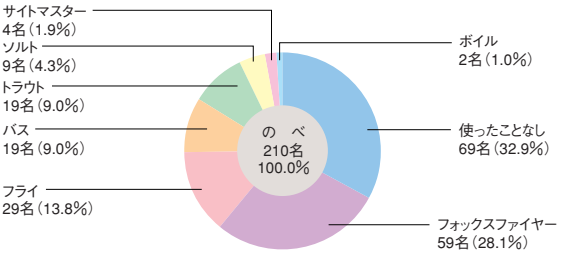
(4) 現在、主にどのような方法で証券取引を行っていますか？ (複数回答あり)



(5) ご趣味は何ですか？ (複数回答あり)



(6) 当社の商品をご利用になったことはありますか？ (複数回答あり)

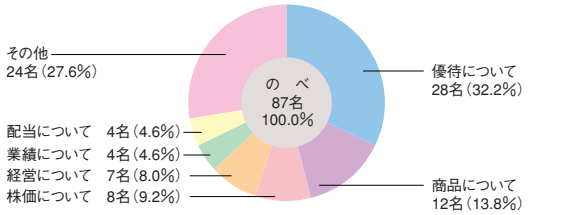


アンケートについて

株主の皆様へのアンケートは、今回のご報告をもちまして終了させていただきます。これまで皆様からいただきましたご回答ご意見は、今後の事業運営の参考とさせていただきます。ご協力まことにありがとうございました。

(7) 何かご意見がございましたらご記入ください。 (複数回答あり)

こちらのご質問に対するご回答をのべ87名（複数回答含む）の皆様からいただきました。特に、株主優待に関するご意見・ご要望を数多くいただきました。深くお礼申し上げますとともに、皆様からのご意見を真摯に受け止め、株主優待の充実、業績の向上に取り組んでまいります。





代表取締役社長 霜田俊憲

これまで日本は急速に人口減の時代に入ると言われています。昨年からそれが現実になり、数万人の人口が減ったとされています。労働力の不足が言われており、将来の生産力の低下が心配されています。

しかしながら、これは天変地異、戦争による人口減ではなく、国民生活の向上のなかで生じてきた人口減です。そこには人々の生活感、幸福感が反映されていると思われます。「遊ぶ動物」としての人間は、世界にさまざまな深刻な問題を抱えながらも、生きていることを楽しむことを、存在の大きな目的にしているように思われます。

われわれと同じように人口減を経験した北ヨーロッパの国々では、人口の減少によって生産力が低下するよりも、むしろ生産性を向上させることによって、賢明にこれに対処してきたようです。結果として人々の余暇時間は増加し、より生活を楽しむ社会環境を作り出してきました。夏の休暇を3～4週間楽しむ北欧、北ヨーロッパの国々では人々の生活は安定し、少子化に対する国の対応も整備され、むしろ出生率の増加を見る国も出てきています。

日本においても、同じ道をたどるのではないのでしょうか。私たちの夏の休暇は、いま、平均で1週間、多いところで2週間というところでしょうか。これが、3週間、4週間になるのは、そう遠い未来のことではなく、5年、10年のうちに実現するのではないかと思います。

その意味で私たちの仕事は、これからさらに重要性を増し、人々の幸福に大きく寄与する機会が増えていくに違いありません。そのために、より一層、私たちが創業以来、大切にしている独創、先駆性、ユニークネスを強く意識して、私たちが携わるアウトドアスポーツをより皆様の幸福に役立つものにしていきたいと思っています。

会社概要 2006年(平成18年)5月末日現在

■設立年月日 1969年(昭和44年)12月1日

■資本金 1,079,998千円

■発行済株式総数 3,339,995株(自己株式1株を含む)

■株主数 1,825名

■本社所在地 〒130-8555
東京都墨田区菊川三丁目1番11号

■役員
取締役会長 酒井 貞彦
代表取締役社長 霜田 俊憲
常務取締役 中山 芳忠(管理部長)
取締役 増田 豊(商品部長)
取締役 酒井 誠一(社長室長)
常勤監査役 小林 正良
監査役 三浦 友三
監査役 大富部喜彦

■従業員数 73名

■主要取引銀行 三菱東京UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行
みずほ銀行
三井住友銀行

●カタログをご希望の皆様へ

フォックスファイヤー秋冬カタログが完成いたしましたので、ご希望の方は住所、氏名、「ティムコレポート カタログ希望」とご明記のうえ、下記E-mailアドレスまでお申込ください。

また、その他ご意見ご要望等ございましたら、こちらからお問い合わせください。

E-mailアドレス: tiemcoir@tiemco.co.jp

なお、カタログは部数に限りがございますため、品切れの際はお送りできない場合がありますので、予めご了承ください。

個人情報について

お申込、お問い合わせいただきました氏名、住所等の個人情報は、ご希望いただきました資料の送付、お問い合わせの対応のみに使用し、その他の目的には使用いたしません。

●ホームページのご案内

当社ホームページでは企業情報において投資家の皆様向けにIR情報を掲載しております。また、新製品情報や商品カタログもご覧いただけますので是非ご利用ください。

ホームページアドレス: <http://www.tiemco.co.jp>